

## 第4回裾野市観光基本計画策定委員会 会議録

【日時】平成23年2月15日（火）18:00～20:00

【場所】裾野市役所 3階 301会議室

【出席者】＜委員＞

木村 繁（有限会社木村商店／代表取締役 ・ 裾野市観光協会／顧問）  
庄司 政史（株式会社時之栖／取締役専務 ・ 裾野市観光協会／理事）  
岩田 翼（有限会社ワン・テン／代表取締役 ・ 裾野市観光協会／副会長）  
道本 晃一（株式会社フジヤマリゾート／取締役社長 ・ 裾野市観光協会／理事）  
羽田 耕治（横浜商科大学商学部貿易・観光学科教授）  
石井 尚子（公募）  
長澤 志郎（公募）  
杉山 共実男（南駿農業協同組合／北部地区本部長）

【欠席者】＜委員＞

中川 敏夫（株式会社三ツ輪交通自動車／代表取締役社長 ・ 裾野市観光協会／理事）  
濱中 幸（富士サファリパーク／取締役園長 ・ 裾野市観光協会／理事）

【次第】

1. 開会
2. 議事
  - (1) 施策・事業の重要度・優先度の整理(各委員の意見のまとめ)
  - (2) 推進体制の検討
  - (3) 自由討議
3. その他
4. 閉会

## 【議事詳細】

### 1. 開会

産業建設部 勝又壽彦部長

観光基本計画にも入っている裾野市の行政経営戦略会議があり、今度のテーマが観光資源を活かしたシティプロモーションということで、観光が採り上げられている。行政経営戦略会議は年 2・3 回あるので、観光基本計画を策定し、推進していく中でこういったところからの提言が活かしていければ良いと思っている。

### 2. 議事

#### (1) 施策事業の重要度・優先度の整理

#### (2) 推進体制の検討

事務局より、上記 2 項目について説明。

資料 1「施策・事業の重要度・優先度の整理(各委員の意見のまとめ)」

資料 2「推進体制の検討」 参照

#### (3) 自由討議

今回出席の 8 名の委員が、上記 2 項目の内容について討議した。

#### 【羽田委員】

この結果を見た時に違和感はなかった。大体この種のことをやる時には直観で決めてしまうが、今回のようにそれぞれの委員の方の声を聞いて、それを点数を付けてこういう風に整理されたというのは画期的だと思う。

#### 【岩田委員】

富士山世界遺産センターの調査費の予算が来年度の県の予算で付いた。候補地としては県の国有地で土地の使用料が掛からないということで水ヶ塚公園が挙がっていたが、水ヶ塚は冬期が駄目だということで、裾野で一部の人たちが富士山資料館付近へということで須山の人たちと協力して努力するらしい。国道 469 沿いが好ましいらしいが、個人的にはヘルシーパークや梅の里周辺希望。難しい問題だが、できれば世界遺産センターの中に裾野にあるものを移設と道の駅や街の駅のようなものを併設する。そうすることによって、登山しない人も富士山について見てもらえる機会ができると思う。どちらにしても、裾野市はまだ世界遺産センター誘致に手を挙げていないので、最重要課題で最優先でやって欲しいと思っている。

#### 【杉山委員】

資料の意見の中に観光農園、遊休農地、ふれあい市の関係の話が色々あるが、遊休農地

については、農地利用集積円滑化事業というものがあり、農協にコーディネーターを置いて遊休農地、工作農地の改修に努めながら、23年度から3カ年計画でそういった農地にそばを作って、最終的には富士山のそばのようなものを広め、最終的には市民も巻き込んでそば作りやそば打ち体験というような取り組みを来年度から計画している。ただ、それと観光を結び付けられるほどまだ今の段階では何とも言えない状況。

ふれあい市については、去年2月に拡張し、すそのパークを3月中に取り入れたり、銘酒を販売したりもしている。こういったPRがもっと市民に行き渡れば観光スポットになるような気がする。

市への質問で、道の駅があった方が良いという話だが、実際市でできないものがあると思うが、そういったできないものを最初から計画に入れるのは何かおかしいと思う。

⇒【産業建設部長】

今の財政状況から考えると難しいところはあるが、候補地のような所をある程度考えられるので、財政状況が好転すれば決して無理だということではないと思う。

計画全てが100%可能なことを計画にするよりも、ある程度理想を入れておくのも良いと思う。何かをやる場合にこういった計画に位置づけされているということは非常に大事。例えば国庫補助を受ける時には必ずどこに位置づけされているかが問われるので、実現できるか難しいところだが、道の駅を入れておいた方が良いのではないかと思う。

⇒【杉山委員】

こういったものは事業の検討で、細かく並んでいるとやるのかという風に思ってしまうので、別枠のような形で今後検討すべきことというように、別にした方が良いような気がする。

⇒【羽田委員】

道の駅というのは完全に固有名詞なので、例えば観光物産販売機能の整備という風に書くのも1つの手だと思う。やはり裾野の今後の産業と観光の結び付けを考えたら、観光と物産販売を促進するようなことは必要だろうと思う。そのため、観光物産販売機能の整備ということで盛り込んでいけば、国の関係で将来的にうまく乗っかることにも対応可能だろうと思う。

⇒【産業建設部長】

小分類になると道の駅という表現だが、中分類くらいであれば、観光物産拠点の形成というような表現にできる。

【長澤委員】

この分類の仕方は非常に分かりやすくなったと思う。重要度Aの20件からどうやっていくのか項目を拾い出し、それを鮮明にし、時期を見て実行する方向に持っていかないと具体的に分からない。もっと具体化させた方が良い感じを受けた。

【石井委員】

項目が沢山あるのでもう少し選定していく必要があると感じた。似たような内容のところが多  
少あったので、一緒にして良いと思う。

想定される担い手の観光とは何か。

⇒【事務局】

観光事業者。

データでは観光事業者と民間事業者が分かれているが、最終的には一緒に括ってしまっ  
ても良いという気がする。

⇒【羽田委員】

行政、団体(観光協会、商工会)、民間事業者、一般市民(NPO も含まれる)というのが一  
般的。

【石井委員】

行政が主というところは商工観光室が主で動くのか。

⇒【産業建設部長】

商工観光室に限らず、施策・事業に合った部署が主になると思う。

⇒【事務局】

報告書の中では、メインやサブにしないで、単純に丸だけするような場合もある。

⇒【産業建設部長】

担い手というところまで観光基本計画の中に明記してあるのか。

⇒【事務局】

施策の中で誰が参加するのかというように明記している。ただ、メインかサブかというもの  
は無いケースもある。

⇒【産業建設部長】

具体的である方が良いと思うが、基本計画というよりも実施計画と一緒になったような  
ものになってきている気がする。

【道本委員】

想定される担い手のメインとなるところが 1 番多いのは団体。そうすると、観光協会や商工  
会が主になるということだが、観光協会がそこまでできるのか疑問。観光プロモーションの強  
化は観光協会が全てメインになっているが、今の場所では不安。情報発信の場所がどこかに  
必要ではないか。費用は掛かるが、駅前かもっと別の場所に拠点があることが望ましい。

【岩田委員】

富士山のビューポイントマップが既にあるということだが、見た覚えがない。

⇒【産業建設部長】

インターネットで見た限り、各市で 1 枚ずつくらいのものしか見つけられなかったので、チ

チャンスだと思った。

⇒【岩田委員】

できれば裾野市だけではなく、表富士観光キャラバンの中で広域的に紹介できたら良いという気がする。

【岩田委員】

5-5 ハイキングコースの整備等は、今現状観光協会が観光商品開発を行っている。

11-1 市内主要道路への花の植栽やオブジェの設置や 11-2 四季を通じた花による修景の推進は、農林と既に始まっている。今年の4月16日には第1回目のパノラマロード菜の花祭りが開催される。

13-2 裾野ブランドの名物や共同商品の開発支援、14-1 地元名産品の紹介、展示販売機能の整備については既に商工会の事業で着手している。

19-1 IT化による観光情報ネットワークの整備推進も来年度観光協会を始めようとしている。

10-1 小・中学校、高等学校の体験学習の積極誘致と教師へのPR活動の推進は、観光協会が研修旅行を行い、色々勉強をしている。

観光基本計画ができた際には、観光を街の中で大切に考えるのであれば、しっかりとした戦略的な予算付けをお願いしたい。

【庄司副委員長】

限られた時間の中で皆さんの意見を集約して出来上がったものなので重視した方が良いと思う。だから話をまとめるというより、単純に重要度が高い方をまず考えていった方が良い。決してとりあえずというのではなく、ベターなことだと思う。予算を付けるか付けないかや、想定される担い手も含めて次の問題のような気がする。観光基本計画を策定する場なので、あくまで我々委員の想い、総意を持っていくことが1番大事だと思う。この中でまとめた優先順位は優先させるべきで、それを精査し、現実動いていることと合わせた上で、何か良いのか、どれを優先すべきか決めるべきだと思う。

県で予算が付いた世界遺産センターについても、中心になるところがないとなかなか発信できないので、観光物産やその展示販売というのは非常に大事だと思う。個人的にはそういったものをパノラマロード付近に設けるべきだと思う。

道の駅に関しても、道の駅百選というものでアンケートを採ったところ、1番は温泉が欲しいということで、やはりパノラマロード付近に創れば良いのではと思う。

色々なデータを元に、今1番良いものが提言できるように委員の皆さんの総意であるオレンジ色を中心に議論を進め、まとめきった方が良いと思う。

【岩田委員】

この資料はこのままで良いと思う。このまま出した時に観光基本計画としての体を成すかは

分からないが、重要度ポイントも入っていて、優先順位順に色分けもされていて、実施計画のようになってしまうという話もあったが、より踏み込んだ基本計画ということで、色別に分類して出す。どの事業も0点というポイントは無いので、総花的になってしまうかもしれないが、優先順位を付けてあるので、これはこれで委員会としての報告、提言ということで、このままで良いと思う。もし切ってしまったら、委員皆さんの細かな想いが繋がらなくなってしまう。ただ、優先順位の高いオレンジと優先順位が低い白を一緒にやれば効率的というものは考えるべきだと思うが。

#### 【杉山委員】

ほとんどが富士山を主にしたような取り組みに見える。1-1 や 7-1 等、やはり須山や下和田のように裾野市でも上の方でないといけない話だと思う。それはそれで良いと思うが。

#### ⇒【産業建設部長】

上ばかりではなく、市の方でも資金を投じているところとすると、葛山、屏風岩、景ヶ島、借樂園、中央公園がある。

JRの方でもコースを作っている。

実際観光施設としては上の方に集中しているが、ハイキングコースの整備は、久根、公文名に山があり、その辺りの方がハイキングコースを作っている。

#### ⇒【杉山委員】

逆に上の方に集中した方が良いのかと思う。あちらこちらにやっても観光的には駄目なのかもしれない。

#### ⇒【岩田委員】

中央公園には既に観光バスが入っている。

観光商品開発については景ヶ島、葛山仙年寺の辺りのハイキングコースの取り組みも作成中。

#### ⇒【木村委員長】

市民の皆さんがこのことに対して共感を持ったり、理解してくれないと意味が無い。なかなか市民の方々全員がというのは難しいので、ある程度は理解して頂かないと実現は難しい。だから市民にどのようにアピールしていくか、市民にどのように発信していくかを検討しなければいけない。

我々委員は関係しているので理解できるが、何もわからない市民の人たちがどういったようであれば納得、理解できるか考える必要がある。例えば単純に回遊ルートの整備というだけではわかりにくいかもしれない。

#### 【庄司副委員長】

市の方では観光基本計画の最終的なイメージ、どのような形で何項目に分かれてというものはあるのか。例えばこのままでもOKなのか。

⇒【産業建設部長】

特にそういった決まったものはなく、このままでも構わない。ただ市の方としてはこういったデータは欲しい。

⇒【木村委員長】

短期、中期、長期の中でいくつかでも実行できたら素晴らしいことだと思う。だからせめて短期でやりたいという部分がある程度達成できるようにしたい。

【岩田委員】

個人的には3年で20事業なので無茶な計画だと思うが、少なくともオレンジの中にも既に着手していることもいくつかある。それに、部長がおっしゃったように、計画として挙がっていれば国の事業等の時に採り上げられやすいと思う。

【長澤委員】

数字にこだわるわけではないが、せつかくポイントが出ているので焦点を絞るのに数字で捉える方が早いと思う。

観光について市民の意見を吸い上げるためにアンケートを実施した方がいいのではないか。

⇒【産業建設部長】

最初に観光意識調査をやりましたが、もっと細かくということでしょうか。

⇒【木村委員長】

行政で市民意識調査を定期的にやっているのか。

⇒【事務局】

毎年やっている。観光だけの意識調査は今回が初めて。市民アンケートは項目が多すぎるとなかなか答えて頂けないという状況があるため、何年かに1度組み入れていくことは可能だと思う。

行政全般に関する市民意識調査は毎年無作為で3,000人を対象に行っている。

【木村委員長】

観光基本計画ができて実際市民にいつ頃出せるのか。

⇒【事務局】

決定したらHP上、各報道にも公開する予定。

毎回の会議内容も資料と共にHP上で公開している。

【岩田委員】

重要度ポイントが2.88が最高だが、その2.88は富士山のビューポイントの選定と整備、観光案内・誘導標識の検討、花の問題の3つで、優先度も非常に高い。幸か不幸かその内の2

つは着手済み。

【木村委員長】

やはり皆さんが考えていることは一致していて、共感できる部分があり、全て捨てがたいので、色分けの中のポイント順位を付け、もう一度データ化してそれを提言していく形でいかがでしょう。

計画を作るのにこのポイントは重要視しなければいけないと思うが、数字を入れるか。

⇒【長澤委員】

数字があった方が手っ取り早く理解できると思う。

⇒【岩田委員】

数字があった方が受け取った方も委員会の意見として分かりやすいと思う。

⇒【羽田委員】

数字を入れるとかえって混乱すると思うので、最終的な基本計画にこの数字を入れるのは絶対にやめた方が良くと思う。ポイントを最終的な計画書に入れるとなると当然その背景になっている物事を全部書いていかないといけなと思う。それにコンマ5や1の比較の中で重要度、優先度が高い低いという時に0.3や0.5の差がどの程度の重みを持つか。あくまでこの委員会の相対的な話であって、一般の方が見た時に説得力は無いと思う。だから最終的には重要度と優先度を勘案して、こういうものから重視して取り組む必要があるというような書き方が分かりやすいと思う。

⇒【事務局】

体系はあるので、今の数字を元にグルーピングして分かりやすく並び替えるということで。

【庄司副委員長】

あくまでもデータがベースとなるので、皆さんの意見をまとめる必要があると思う。ダブっているものも当然あるので、色々吟味しながらもう1回精査しても良いと思う。

【長澤委員】

広域的にマスコミを通じたこの地域の観光開発をやるのも面白いと思う。

⇒【岩田委員】

富士山資料館に映像コンテンツを1つ入れても良いかもしれない。

⇒【木村委員長】

御殿場に樹空の森という施設ができるが、こういったものもできれば広域の中で一緒に利用させて頂くという考えも1つある。

⇒【長澤委員】

広域的に歴史の中から活かした観光開発はプラスになる方が多いと思う。地域の特性を拾い出して市全体で囲い込むような形での観光行政をやると思う。

### 3. その他

今回はその他連絡事項等はなし。

### 4. 閉会

庄司政史副委員長

色々な見方があり、外からの見方や商売をしている側からの見方もあるので、地域の連携を視野に入れなければいけないと思う。残り 1 回の会議の中でこの出ているデータを中心にして、かりとした提言ができればと思っている。